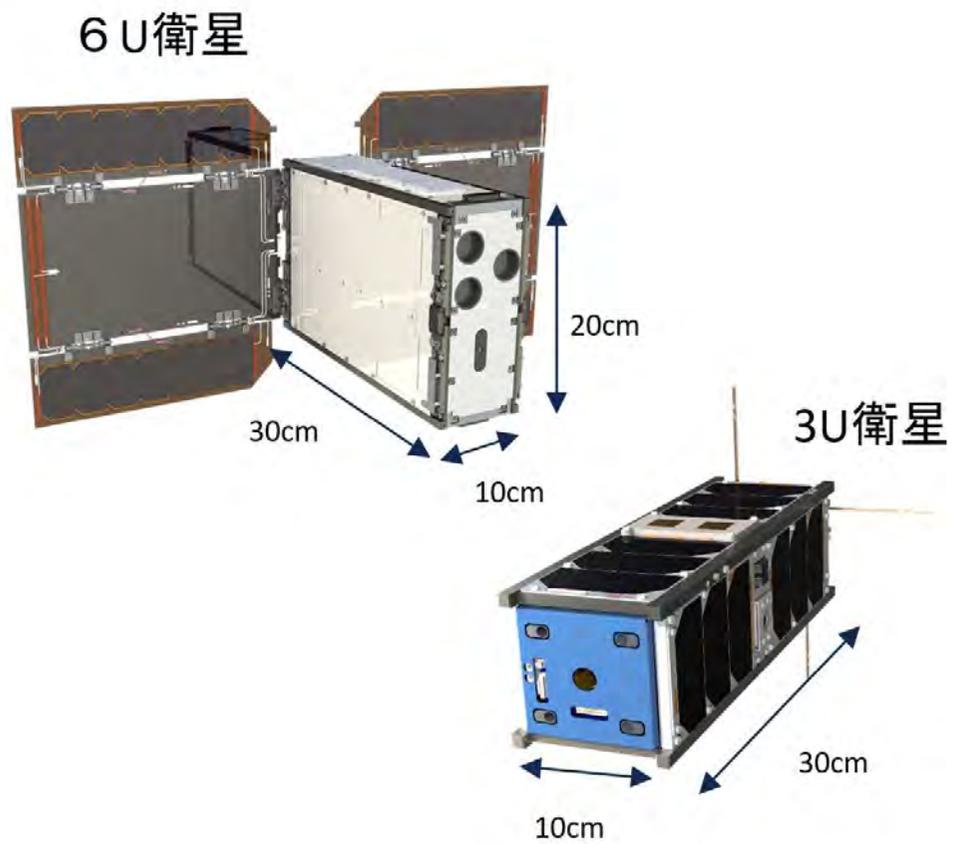


①発表番号	②セッション	③セッション名	
8-5	セッション8	超小型衛星利用に関連する新しい構想	
④発表タイトル			⑤発表者所属・氏名
人類のEdgeに挑戦するアークエッジ・スペースの将来戦略			(株)アークエッジ・スペース 福代 孝良
⑥著者	⑦所属	⑧代表者メールアドレス	⑨現在の状況：
	株式会社アークエッジ・スペース		
⑩概要（200字程度）		⑪本ミッションの狙い	⑫実現のキーとなる要素技術
アークエッジ・スペースは、超小型衛星のコンステレーションを中心とした宇宙利用の新たな形を作り、誰もが衛星によるビジネスが可能な時代のインフラを提供することを目指している。本発表では、アークエッジ・スペースが現在取り組んでいる開発の状況及び将来のサービス展開戦略・事業戦略の展望について紹介する。		現在検討している量産衛星の設計開発体制を確立することで、定期的に衛星を開発・打上することができ、事業者・衛星利用者にとって柔軟なミッション選択と納期短期化等によるリスク軽減が可能となる。	様々なミッションに対応可能となる衛星バス設計開発技術 柔軟かつ迅速な量産を可能とする生産技術 上記を包括的に支えるソフトウェア技術
⑬衛星のスペック		⑭開発状況・計画	
衛星サイズ：3U~6Uを主とした、CubeSatクラス		経済産業省超小型衛星コンステレーション技術開発実証事業において、様々なミッションに対応可能となる衛星バスシステムの開発を実施しており、そのシステムを利用した最初のシリーズ衛星を2023年度に軌道上実証することを目指す。また、並行してCubesatの設計開発手法をベースとしながら、さらに大きなサイズの衛星の概念検討も進めている。	

⑮衛星のイメージ図



⑯ミッションのイメージ図 (※あれば)

⑰ ミッションや技術詳細

⑱ 参考文献など (optional)